

京都産業大学 神山天文台
第2回天文学講座

全国同時七夕講演会※

ブラックホール
初撮影の衝撃と今後の展望

2019年4月、ついに人類が初めて得たブラックホールの画像が全世界に発信されました。
地球上のミリ波電波望遠鏡をいくつもつなげた
"Event Horizon Telescope"（「事象の地平面望遠鏡」）による成果です。
本講演では、ノーベル賞級とも言われるこの成果のどこがそんなに凄いのか、
日本の貢献は何か、この次のステップは何かなど、
ブラックホール撮像に関わる研究動向について、一般の方にわかりやすく解説します。

Credit: EHT Collaboration

2019 7/27(土)
15:00 – 16:30

京都産業大学 神山天文台
地下1階 神山天文台ホール

夜間は天体観望会を開催します（19:00～21:00）。
悪天候時は宇宙の3D映像上映会を開催します。

予約不要 入場無料 小学生以上対象

講師



みなしげ しん
嶺重 慎 氏

京都大学 理学研究科 教授

神戸市出身、東京大学大学院理学系研究科修了、理学博士。専門はブラックホール天文学。専門の研究・教育に加え、一般書講演や一般書、バリアフリー教材製作などに従事する。主な著書に『ブラックホール天文学』（日本評論社）『新天文学入門』（共編著、岩波書店）など。

※全国同時七夕講演会は、7月7日の七夕の夕方を中心とした前後の期間中に全国各地で同時に講演会を開催し、天文学の普及の輪を広げようとするもので、日本天文学会と日本天文教育普及研究会との共催事業として、神山天文台が実施するものです。

主催 京都産業大学 神山天文台 共催 日本天文学会 / 日本天文教育普及研究会
後援 京都市教育委員会
その他 講座終了後には「アストロノミー・カフェ」（16:30～17:30）を開催します。
お茶を飲みながら講師と気軽に会話を交えて頂けますので、どうぞご参加ください。
問合せ 京都産業大学 神山天文台 ☎075-705-3001 🌐<https://www.kyoto-su.ac.jp/observatory/>

